

1 接続詞 … 文や文節をつなぎ、前後の関係を示す。

2 接続詞の種類・働き

例 「順接」 したがって／だから／そこで／すると

「逆接」 しかし／でも／けれども／ところが

「並立」 また／および／ならびに／そして（添加とも捉えられる）

「添加（累加）」 さらに／そのうえ／しかも

「選択（対比）」 または／もしくは／あるいは／それとも

「説明」 つまり／すなわち／なぜなら／例えば

「転換」 ところで／さて／では／それでは

3 紛らわしい接続詞

接続詞

・ スマホを落とした。そこで、すぐに交番に行くことにした。

・ テーブルがある。僕はそこで宿題をしよう。

一 次の各文の―線部の接続詞の働きを、あとのア～エから選び、記号で書きなさい。

① 外は雪が降っている。が、部屋の中は暖かい。

イ

② スパゲティ、またはカレーライスのどちらにしましょうか。

エ

③ 和菓子が食べたい。例えば、みたらし団子や桜餅がいいな。

ア

ア 説明      イ 逆接      ウ 添加      エ 選択

二 次の文章の（ ）にあてはまる接続詞をあとのア～カより選び、記号で書きなさい。

久しぶりに風邪をひいてしまった。（①）、39度の熱も出ている。（②）、学校を休んで家で寝ていた。（③）、息苦しく、あまり良くない。心配した母は、僕を車に乗せ、病院に連れて行ってくれた。病院の診察室には僕一人が入った。（④）、もう中学生だし、母と一緒に恥ずかしいからだ。診断結果はインフルエンザではなく、単なる風邪だった。（⑤）、薬ももらったし、家に帰ろうとするか。

ア さして      イ あるいは      ウ なぜなら      エ かし

オ だから      カ しかも

① カ

② オ

③ エ

④ ウ

⑤ ア

